

平成22年2月市議会定例会一般質問発言通告書

◎ 代表質問

五人会
3番 上野安是

1. 地域主権の確立に向けた市政運営について

瀧本市長は、市長に就任されて以来、市民との協働のまちづくりや健康寿命の延伸を目的とした事業、さらに、最近の経済状況に対応した緊急経済雇用対策を展開されるなど、市民福祉の増進と市政の発展のために精力的に活動されてきました。

現在、国では地方分権に向けた動きが本格化し、地域主権の確立は民主党の最重要課題として議論されており、市政にとっても大変重要な時期となっております。地方分権が進展し、国から権限と財源が移譲されれば、今後ますます地域の経営力が問われ、頑張る地域とそうでない地域の格差が拡大すると考えます。

こうした情勢の中、井原市が頑張っている地域となるため、市長はどのような市政運営（地域経営）を目指されているのか考え方を伺います。

2. 子宮頸がんを予防するワクチン接種費用の助成について

厚生労働省は、昨年10月に子宮頸がんを予防するワクチンを正式承認し、12月には国内でワクチン接種が受けられるようになりました。

子宮頸がんは、20～40代の女性のがんの発症率ではトップであるという統計もあります。そこで本市における子宮がん（子宮頸がん、子宮体がん）の発症の状況を伺います。

また、子宮頸がんは、ワクチン接種をすることにより、予防することができるかとされていますが、ワクチン接種にかかる費用が4～6万円と高額なため、容易に受けるにはまだ困難な状況にあります。

そこで、健康寿命日本一を掲げる市長にとって、市民の健康を守るために、子宮頸がんの予防ワクチンの接種費用の助成をしてはどうか伺います。

また、正しい知識を持っていれば、子宮頸がんは自分で予防できるといわれています。そうした情報提供を含めた今後の取り組みについて伺います。

1. 新市将来構想・建設計画の進捗状況について

平成17年3月に1市2町が合併して5年が経過し、平成17年度から平成26年度にかけての10年間の計画である新市将来構想・建設計画の中間年となりました。そこで計画中である重点プロジェクトの進捗状況について伺います。

また平成21年8月の総選挙において民主党へ政権交代がありました。この計画への影響について伺います。

2. 市長の市政に取り組む決意について

平成18年9月に市長に就任して以来、3年6カ月が経過しました。市長は、公約である市民との協働のまちづくりの推進や健康寿命日本一を目指す施策等を展開されていますが、市長の任期も残り6カ月となりました。公約の実現に向けた平成22年度予算編成の特徴と、今後市長が市政に取り組む決意について伺います。

3. 火災時における個人を特定する情報の取り扱いについて

平成20年1月より、市民のより多くの方に、安心・安全な暮らしのサービスの充実を図るため、「火災に関する情報」・「その他の緊急情報」・「市役所からのお知らせ」を個人の携帯電話へ情報配信サービスをされています。

「火災に関する情報」の際、火災現場を知らせるため、目安になる目標物が提示されています。明確な目標物がない場合は個人を特定する情報を提示することで、消防団等の出動や近所の対応に役立つと思われます。火災等の緊急時における、個人を特定する情報の取り扱いについて伺います。

4. 悪臭対策について

本件については、これまで再三質問されておりますが、残念ながら、いまだに解消にいたっていない状況と考えます。

定期的な臭気測定や県と連携した立入検査、また巡回、指導など改善に向けて努力されているとは思いますが、さらなる今後の取り組みについて伺います。

1. 市長の政治姿勢について

瀧本市長は、平成18年9月に就任以来、市民福祉の向上と井原市の均衡ある発展に尽くしてこられました。

特に、合併後間もないことから、新市における情報の共有化や一体感の醸成に向け、努力されました。

今後における市長の政治姿勢についてお伺いします。

2. 井原市特別養護老人ホーム「星の郷」の運営について

井原市特別養護老人ホーム「星の郷」の運営につきましては、提案説明において、当面直営での運営を示されました。今後の管理体制（医師等職員面）や運営体制（経営面）についてのお考えをお伺いします。

3. 市道志村百町線改良工事について

市道志村百町線改良工事も平成22年度完成に向けて、工事も進んではいますが、事業計画が余すところ1年となり、残された箇所も多く見受けられますが、現在の進捗状況と完成へ向けての計画についてお伺いします。

4. 美星地区への分譲住宅地造成について

人口減少が加速するなか、定住促進のため市の遊休地等を利用した分譲住宅地を造成し、安価で分譲してはどうかお伺いします。

◎ 個人質問

17番 川上 泉

1. 子育て相談に対する新年度の体制について

昨年6月議会で、行政に対する子育て相談窓口として、(仮称)子育て支援課を設置し、子育て相談に対する窓口を一本化してはとの質問に、市長は重要な検討課題であるとの答弁をされました。

新年度からどのような体制で臨まれるのかお伺いします。

2. 本市の人口減少問題にさらなる積極的な取り組みを

本市の定住促進に関する業務は複数の部署に分かれており、これでは、急激な人口減少問題には対応できないと考えます。

(仮称)定住促進推進課を設けて、取り組んではどうかお伺いします。

1番 坊野 公治

1. 小学校就学前の健康診断について

現在、学校保健法に基づく小学校入学前における幼児の健康診断を実施していますが、学校によっては4～5日かかっています。保護者への負担を軽減するため、1日で実施できる体制にできないでしょうか伺います。

2. ごみの分別の徹底と収集体系の見直しについて

家庭ごみの有料化が実施され、現在ごみの減量化が進んでいます。今後、正確な分別が行われるようになれば、資源ごみの量がふえていくものと思われれます。今後の分別方法のさらなる徹底と収集体系の見直しについて伺います。

1. 井原市立高校の今後のあり方について

市立高校は昭和39年に「働きながら学ぶ学校」として創設され、現在100名の生徒が学んでいます。この4月には丸46年が経過しようとし、校舎は老朽化が著しく進んでいます。

1) 少子化や県立高校の再編に伴い、市立高校を本市としてどういった位置付けをされているのか、教育的視点からどういった存在とを考えておられるのか、また、財政的・人的支援の現状と今後の支援体制についてのお考えをお伺いします。

2) 現在の校舎は昭和39年に建てられたものです。その中でも本館と特別教室として使用している南館は、木造でしかも市内の小学校の校舎を解体し、移築したものです。施設整備についても運動場がないため、これまで市の体育館や隣の井原高校南校地、旧精研高校のグラウンドを借りて体育の授業を行っております。

この問題については以前より建て替え、移転などがたびたび議論されてきましたが、ここまで老朽化した校舎をどうされるのかお伺いします。

1. 高齢化に伴う諸課題について

1) 中山間地、市街地を問わず過疎化、高齢化が進む中、町内会役員や自治会役員の輪番制や当番制により地域コミュニティの維持、継続が保たれている状況下にあつて、特に高齢化による気力、体力の衰えや健康不安を抱える一人暮らし高齢者、高齢者夫婦の家庭では自治会内の行事や葬祭時などでの共同作業が大きな負担や心労となり、日常生活での先行き不安を強く感じるといった声を聞きます。こうした現状は一部地域の問題ではなく、市内全域の課題となりつつあります。その現状に対して地域ごとでの話し合いや相互理解で解決をされている地域や地区もあるようですが、本市としても、地域コミュニティを維持していく中で類似した課題が今後多くなることが予測されます。そうした課題の解決策についてどのように取り組む考えか伺います。

2) 市営住宅等で高齢者で4階や5階などに居住されている方がいますが、階段の上り下りが大きな負担となっている状況があります。本市としても5階までの市営住宅へのエレベーター設置や1、2階で空室が出た際には、本人が希望すれば転居できるなどの配慮はできないか伺います。

3) 昨年の12月議会で緊急情報医療キットの普及について提案をしました。今後、地区社協や各種団体の理解・協力があれば検討したいとのことでありました。緊急情報医療キットは冷蔵庫内や下駄箱の上などに置いての情報提供方法でしたが、高齢者に携帯してもらおう「安心カード」方式の取り組みについて伺います。

4) 認知症サポーター「100万人キャラバン」に対する本市の取り組みと活動状況について伺います。

2. 小・中、市立高校における「キャリア教育」の現状と課題について

平成15年に若年層の雇用問題対策として文部科学省を中心とし数省との連携を図り「若者の自立・挑戦のためのアクションプラン」策定、それに基づき様々な施策がスタート、その取り組みを総じて「キャリア教育」と呼称されています。学校における「キャリア教育」とは「子ども達がこの激しい社会の変化に対応していく能力、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力、社会人・職業人として自立していくことができるようにする教育」であります。前述したような成果が残せるキャリア教育が望まれますが、本市の現状の教育状況とその成果、今後の課題について伺います。

3. 住宅版エコポイント制度について

国においては、現下の経済不況のなかで景気浮揚策とCO2削減策としてエコカー減税や家電エコポイント制度の導入が実施され、また、平成21年度第2次補正予算では「明日の安心と成長のための緊急経済対策」において現状制度の継続と新たに「エコ住宅の建設」・「エコ住宅リフォーム」に対して住宅版エコポイントを発行する制度が盛り込まれています。

全国的に新設住宅着工戸数の減少が顕著で、前年比27.9%減との報道があります。こうした状況下での制度であり、エコポイント付加の効果によるエコ新

築住宅建設の増加やエコリフォーム改修の増加が期待されます。また、エコリフォーム改修ではバリアフリー改修もポイント加算がされるようです。国の制度ではありますが、本市としても、この機会に「エコ住宅の建設」や「住宅エコリフォーム」の後押しをするなど、地元地域の活性化につながる施策の展開が求められます。例えば、地元建材の使用や地元建設業者の施工には補助金を出すなども考えられます。また、エコポイントの交換対象として地元地域商品券発行や地元特産品のポイント還元商品としての登録や新築やリフォーム後の追加工事費用への活用などが挙げられます。車や家電製品より高額なポイントとなるため、活用次第では大きな経済効果が期待されますが、本市の考えを伺います。

4番 簀戸利昭

1. 公共交通対策について

市内には公共交通として、井原鉄道、路線バス、市内循環バスの交通網が整備されていますが、そうした既存の公共交通のない地域が市北部を中心に多くあります。そうした公共交通空白地域は小規模高齢化集落が多く、交通手段の確保が重要な課題と考えます。

そこで、以下の点について伺います。

①先の11月議会において、小規模高齢化集落における交通手段の確保に関する質問の中で、市長は「福祉タクシー・福祉バス利用券助成について、交付枚数や交付対象者の範囲についての見直しを行うこととしている」と答弁されました。平成22年度の助成事業として、どのような検討を行い、どのような見直しの内容とされたのでしょうか伺います。

②平成22年度当初予算において、デマンド型乗合タクシー運行委託事業が計上されています。運行は3ルートで週2日、1日2便の試験運行とのことですが、事業の詳しい内容について伺います。

また、試験運行期間の実績を元に本格運行について検討されると思いますが、本格運行に移行するための基準等について伺います。

2. 福祉・文化ゾーンの創出について

井原市民病院、井原図書館、社会福祉協議会、NPO法人はっぴいひろば・とまとさん家、今春オープンするサンサン交流館など、これらの施設がある地域を福祉・文化ゾーンと位置づけ整備をしてはいかがでしょうか、市長の考えを伺います。

2番 藤原浩司

1. 平成21年度の公共事業における進捗状況等について

①土木、建築、下水、水道工事、コンサルタント、設計業務の進捗状況について伺う。

②6月議会で提言したエコノミックガーデニング手法の取り組みへのその後の進捗状況及び市内企業の動向について伺う。

③公共事業（工事・物品役務）20万円以上の市内業者への落札割合及び下請発注協力要請に対する元請業者の対応とその状況について伺う。

2. 井原桜まつり等、観光行政に対する考えについて

①桜まつりの際の井原堤のぼんぼりの設置箇所及びのぼりの設置について伺う。

②桜堤のごみ集積場所及び花見見物の方々へのごみ集積について伺う。

3. 環境衛生及び再資源化委託について

①し尿くみ取りの料金及び換算方法について伺う。

②各業者の年間し尿くみ取り実績量と市のし尿くみ取り実績処理量について伺う。

③し尿くみ取りに関する市民からの要望・意見（苦情）について伺う。

④再資源化委託施設に対する市の基本的な考えについて伺う。

1. 地域主権と自治基本条例について

真の地方自治を進めるには、新政権の基本スタンスである「地域主権」の確立が必要である。この前提として、職員自らが、限られた財源を市民サービス向上のために活かすことが求められている。すなわち、職員の経営力や企画立案能力等が問われる時代となっている。

①本市における職員研修の実情と成果等について伺う。

②総合行政の展開のためには、まちづくりのための基本的な理念や原則、議会、市民との役割分担やその仕組みを組み入れた「自治基本条例」が必要不可欠となっている。本市としての、この条例制定に向けた基本的な考えを伺う。

2. 電子自治体の構築と地域の情報化について

①高度情報社会が進展するなか、本市としても自治体内部の情報化について、様々な取り組みをされているが、その骨格と年間の経費及び費用対効果や今後の電子自治体構築に向けた取り組みについて伺う。

②本市には、第三セクターとしての「井原放送」があるが、基軸事業としてのC A T Vの双方向機能を活かした、今後の具体的展開について伺う。

③地域産業の活性化のためには、デジタル技術の活用が不可欠である。現在のインターネット環境は、N T T等に比べ、通信速度において問題があると考え。今後の光ファイバー網整備を含めた見通しについて伺う。

3. 協働のまちづくりと公民館の果たす役割について

①「新しい公共」については、昨年3月の「市民協働の基本方針」の中で整理されているが、まず、市民活動センター「つどえーる」の活動実績と課題等について伺う。

- ②現在までの協働に関する2つの補助事業について、その成果と課題等について伺う。
- ③新年度予算に、新規施策として「公民館主事」の配置があるが、その採用方法と時期、及びこれらの方に対する基本研修、また具体的に担っていただく業務内容について伺う。
- ④今後の公民館の果たす役割について「協働のまちづくり」の視点で、自治会等各種団体と、どのように機能化させようとしているのかについて伺う。
- ⑤公民館に職員が配置される状況のなかで、教育委員会と市長部局との具体的な連携等について伺う。

15番 河合建志

1. 第13回雪舟サミット開催について

雪舟、その名は世界の画聖と称され自らが遺した作品のうち、国宝指定が6点もある傑出した画僧である。その偉大な業績は、ユネスコにおける世界平和会議において、日本人でただ一人、世界の10大文化人に選ばれたことに表れている。雪舟は総社市に生まれ、芳井町天神山「重玄寺」が終焉の地といわれる。

雪舟サミットは5市1町の構成で、2年に1度のサミットであり、本年は11月に本市で開催される。

- ①本市で開催されるサミットの内容はどのようなものか伺う。
- ②文化団体「雪舟を語る会」等があるなか、協働のまちづくりの観点から官民一体となり実行委員会を組織してはどうか伺う。
- ③今回のサミットをまちおこしにどのように活かしていくのか伺う。
- ④今までサミットへ出席したその成果はどのように市政へ反映されたか伺う。

⑤今後、他市で開催されるサミットへ、民間の文化団体を出席させてはどうか伺う。

8番 大 鳴 二 郎

1. 地球温暖化問題について

家庭での温暖化対策は進んでいるどころか、むしろ逆に悪化しているのではないかと思われる。自動車の台数も20年前と比べると2倍強になり、排ガス、CO₂の排出が増えている。家庭内の電気製品からのCO₂排出が全体の3割を占めている。近年は省エネ対応の製品も出ているが、パソコン・DVDレコーダー・薄型テレビ等家庭内の保有が1部屋に1台のペースでふえているのが現状である。本市としての温暖化対策について伺う。

2. ごみ問題について

①ごみの分別を徹底することが重要であると思うが、分別の指導方法について伺う。

②不法投棄防止策として不法投棄監視パトロール・監視カメラの設置を行っているが、パトロール等の現状と課題について伺う。

③住民から指定ごみ袋の価格が高いとの批判がある。近隣の市町村と比べても高いと思うが、価格は何を基準に決められたのか伺う。

また、価格を安くできる方法を考えるべきではないか伺う。

3. 森林保全について

①温暖化による気候変動が一つの要因となり本市の森林も荒れてきている。大きな木は切り、植林をふやすことが大切である。森林組合と協力して森林保全を行ってはどうか伺う。

②おかやま森づくり県民税を利用した事業への取り組み状況について伺う。

4. 住宅版エコポイント制度の導入について

2009年12月8日に閣議決定された住宅版エコポイント制度のPRと制度を活用した本市の施策について伺う。

20番 森本典夫

1. 発光ダイオード（LED）照明への切りかえを積極的に進めては

市として最近発光ダイオード（LED）照明器具を使用し始めていますが、公園の照明や建物（公共施設）の照明などを、CO2削減や光熱費の節減の観点から、切りかえ当初は予算がかかりますが、将来のことを考え積極的かつ大胆に発光ダイオード（LED）照明器具に切りかえてはどうか。

22年度予算での対応状況と今後の方針について伺います。

2. 老朽化が進んでいる水道管敷設がえ計画を前倒しで実施を

原因は色々ですが、全国各地で水道管の破裂などで大きな被害が発生しています。井原市では計画的に老朽管の敷設がえをしているようですが、他自治体のような水道管の破裂による大事故を起こさないためにも、計画を前倒しして実施してはどうか。

3. 年齢に関係なくひとり暮らしの希望者には緊急通報装置の設置と市民へのPRを

緊急通報装置の設置は、一人暮らしのおおむね65歳以上の方や障害者手帳をお持ちの方ということになっています。現在、64歳以下の方の設置者はいないようですが、一人暮らしの方で本人が希望すれば、年齢に関係なくこの装置を設置してはどうか。また、このことを広く市民にPRすべきではないでしょうか。

4. 市民の安全確保のため、消えかかっている外側線の緊急な引き直しを

幹線道路に限らず、市内の多くの箇所を外側線が消えたり消えかかっています。市民の安全確保のため緊急に引き直しをすべきではないでしょうか。

5. 食べ物アレルギーのある園児・児童・生徒の給食時の発作に対する対応の確立を
10月中旬から幼稚園給食が実施されるようですが、特に給食を食べる園児数
が増加することで、新たにアレルギーが発生する園児がふえることが予想されま
す。食べ物アレルギーのある園児に対する対応をより一層確立することが求めら
れます。食べ物アレルギーのある園児・児童・生徒の給食時の発作に対する対応
の確立をどのように考えておられますか。

6. 元西江原幼稚園跡地を舗装しますが、ご近所に対する「ほてり」対策と大量降雨
時の排水対策をどう考えておられますか

新年度で元西江原幼稚園跡地を舗装する計画ですが、約700坪の舗装ですの
で、ご近所への「ほてり」の影響や、大量降雨時の急激な排水に対する対策を講
じる必要を感じますが、これらのことをどう考えておられますか。